

ふりがな 氏 名	ほりお ふみひこ 堀尾 文彦	職 名	教授
取 得 学 位	農学博士	学会での受賞歴	日本栄養・食糧学会奨励賞 日本ビタミン学会学会賞 日本栄養・食糧学会学会賞
主な担当科目	栄養学、食品学総論、基礎化学(有機化学を含む)		
所 属 学 会	日本栄養・食糧学会、日本ビタミン学会、日本農芸化学会、日本体質医学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	ビタミン・バイオフィクター総合事 典	共	令和3年7 月	朝倉書店	
論 文	E3 ubiquitin ligase RNF123-deficient mice exhibit reduced parasitemia and mortality in rodent malaria (Plasmodium yoelii 17XL) infection.	共	令和4年2 月	Palasistol.Int., 88	Miyasaka, Y., Niwa, S., Masuya, T., Ishii, R., Kobayashi, M., <u>Horio, F.</u> and Ohno, T.
	アスコルビン酸欠乏は腸内細菌 の存在の有無にかかわらず肝臓 と腸管で炎症関連遺伝子の発現 を誘導する	共	令和3年	ビタミン、93	川出野絵、村井篤嗣、鈴木若奈、 竹内健三郎、近藤誠、小林美里、 <u>堀尾文彦</u>
	Ascorbic acid deficiency induces hepatic and intestinal expression of inflammation-related genes irrespective of the presence or absence of gut microbiota in ODS rats.	共	令和2年8 月	J.Nutr.Biochem., 86	Kawade, N., Murai, A., Suzuki, W., Takeuchi, K., Kondo, M., Kobayashi, M. and <u>Horio, F.</u>
	ビタミンCの疾患に関わる生理機 能の解析 ―抗炎症作用を中心 にして―	共	令和2年8 月	ビタミン、94	<u>堀尾文彦</u> 、川出野絵

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	Ablation of Iah1, a candidate gene for diet-induced fatty liver, does not affect liver lipid accumulation in mice.	共	令和2年12月	PLOS ONE, 15(5)	Masuya, T., Suzuki, M., Tsujimura, J., Kanamori, S., Miyasaka, Y., Ohno, T., Murai, A., <u>Horio, F.</u> , and Kobayashi, M.
	Evaluation of a receptor gene responsible for maternal blood IgY transfer into egg yolks using bursectomized IgY-depleted chickens.	共	令和2年12月	Poult.Sci., 99	Murai, A., Hamano. T., Kakiuchi, M., Kobayashi, M. and <u>Horio, F.</u>
	Ascorbic acid deficiency increases hepatic expression of acute phase proteins through the intestine-derived IL-6 and hepatic STST3 pathway in ODS rats.	共	令和元年 8月	J.Nutr.Biochem., 70	Kawade, N., Murai, A., Suzuki, W., Tokuda, Y., Kobayashi, M. and <u>Horio, F</u>
	アスコルビン酸欠乏は、腸管でのIL-6産生を上昇させて肝臓のSTAT3を活性化することにより急性期タンパク質の発現を上昇させる	共	令和元年11月	ビタミン、93	川出野絵、村井篤嗣、鈴木若奈、徳田優希、小林美里、 <u>堀尾文彦</u>
	糖・脂質代謝異常症の遺伝因子と食事因子に関する研究	単	平成30年6月	日本栄養・食糧学会誌、71(6)	<u>堀尾文彦</u>
	Dietary Intake of Ascorbic Acid Attenuates Lipopolysaccharide-Induced Sepsis and Septic Inflammation in ODS Rat.	共	平成30年9月	J.Nutr.Sci.Vitaminol.,64:	Kawade, N., Tokuda, Y., Tsujino, S., Aoyama, H., Kobayashi, M., Murai, A. and <u>Horio, H.</u>
	Ingestion of paddy rice increases intestinal mucin secretion and goblet cell number and prevents dextran sodium sulfate-induced intestinal barrier defect in chickens.	共 共	平成30年10月	Poult. Sci., 97	Murai, A., Kitahara, K., Terada, H., Ueno, A., Ohmori, Y., Kobayashi, M. and <u>Horio, F.</u>
	Congenetic mapping and candidate gene analysis for streptozotocin-induced diabetes susceptibility locus on mouse chromosome 11.		平成30年11月	Mamm.Genome, 29	Maegawa, T., Miyasaka, Y., Kobayashi, M., Babaya, N., Ikegami, H., <u>Horio, F.</u> , Takahashi, M., Ohno, T.
	Coffee ingestion suppresses hyperglycemia in		平成29年	J.Nutr.Sci.Vitaminol., 63(3)	Kobayashi, M., Kurata, T., Hamana, Y., Hiramitsu, M.,

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論文	streptozotocin-induced diabetic mice.				Inoue, T., Murai, A. and <u>Horio, E.</u>
学会発表	無菌ODSラットにおけるアスコルビン酸欠乏による腸管と肝臓での炎症様変化の解析	共	令和2年3月27日	日本農芸化学会2020年度大会(福岡)	川出野絵、村井篤嗣、鈴木若奈、竹内健三郎、小林美里、 <u>堀尾文彦</u>
	アスコルビン酸欠乏による腸管での網羅的な遺伝子発現変動の解析	共	令和元年6月8日	日本ビタミン学会第71回大会(鳥取)	鈴木若奈、川出野絵、小林美里、村井篤嗣、 <u>堀尾文彦</u>
	アスコルビン酸欠乏による肝臓でのサイトカイン発現の上昇	共	令和元年5月19日	第73回日本栄養・食糧学会大会(静岡)	川出野絵、鈴木若奈、小林美里、村井篤嗣、 <u>堀尾文彦</u>
	アスコルビン酸欠乏時の肝臓でのSTAT3活性化と腸管でのサイトカイン発現の上昇	共	平成30年6月22日	日本ビタミン学会第70回大会(高槻市)	川出野絵、鈴木若奈、大谷祥也、小林美里、村井篤嗣、 <u>堀尾文彦</u>
	脂肪肝感受性候補遺伝子 Iah1 の全身性と肝臓特異的欠損マウスの解析	共	平成30年5月13日	第72回日本栄養・食糧学会大会(岡山)	小林美里、金森深作、鈴木京、舛屋智美、大野民生、村井篤嗣、 <u>堀尾文彦</u>
	SMXA5 マウスの食餌誘導性脂肪肝の形成機構の解析	共	平成29年3月18日	日本農芸化学会2017年度大会(京都)	金森深作、小林美里、鈴木京、村井篤嗣、 <u>堀尾文彦</u>
	アスコルビン酸の末梢血単核球におけるLPS誘発性TNF $\alpha$ 産生抑制効果の解析	共	平成28年6月18日	日本ビタミン学会第68回大会(富山)	大谷祥也、辻野祥伍、小林美里、松田幹、村井篤嗣、 <u>堀尾文彦</u>
	脂肪肝感受性遺伝子座 Fli1sa の候補遺伝子の選抜とその機能解析	共	平成28年5月15日	第70回日本栄養・食糧学会大会(兵庫)	鈴木京、小林美里、大野民生、辻村絢子、村井篤嗣、 <u>堀尾文彦</u>